



平成20年度
ひとり親世帯等実態調査報告書

平成 21 年 3 月

名古屋市

は　じ　め　に

近年、社会情勢は大きく変化しており、少子・高齢化も急激に進む中、ひとり親世帯等の方々をとりまく状況もますます複雑・多様化しております。

本市では、ひとり親世帯等の生活実態や生活意識を把握し、その福祉の向上に資するため、平成20年9月に「平成20年度ひとり親世帯等実態調査」を実施いたしました。

このたび、その調査結果を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

今後は、この結果を参考とし、ひとり親世帯の福祉と自立の推進に取り組んでまいりたいと考えております。また、この報告書が関係各方面におかれましても広くご活用いただき、ひとり親世帯等の福祉向上の一助となれば幸いに存じます。

さいごに、この調査の実施にあたりまして、ご多忙にもかかわらずご協力いただきましたひとり親世帯のみなさまに深く感謝申し上げます。

平成21年3月

名古屋市子ども青少年局長 石井 久士

目次

I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 調査の方法	1
4. 調査項目	1
5. 調査の時期	1
6. 実施主体	1
7. 集計・分析	1
8. 調査票の回収状況等	2
9. 調査対象世帯の定義	2
10. 標本誤差	3

II 推計

1. 推計	5
-------	---

III ひとり親家庭等実態調査結果の推移

1. 母子世帯	7
2. 父子世帯	8
3. 両親のない子のいる世帯	9
4. 寡婦世帯	10

IV 調査結果

第1章 母子世帯

1. 母子世帯の状況について	11
(1) 母親の年齢	11
(2) 最終学歴	13
(3) 同居の家族	14
(4) 子どもの人数	17
2. 母子世帯になった当時の状況	20
(1) 母子世帯になった理由	20
(2) 母子世帯になった当時の母親と最年少の子どもの年齢	23
(3) 母子世帯になってからの期間	25
(4) 母子世帯になって困ったこと	27
(5) 援護施策を知った方法	30
3. 住まいについて	32
(1) 住居形態	32

(2) 現在の住まいを選択した理由	39
(3) 現在の住まいの居住期間	41
(4) 転居の希望・住まいの不満	42
(5) 転居する予定	45
(6) 区役所・支所へのおもな移動手段	47
4. 母親の就業状況	48
(1) 現在の就業状況	48
(2) 雇用されている人の雇用形態	51
①雇用の形態	51
②勤務時間	52
③終業時間	53
④職種	55
⑤勤務している期間	56
⑥勤務地	57
⑦通勤時間	59
⑧就職経路	60
(3) 母子世帯になった当時と現在の仕事の状況	62
①母子になった当時の仕事の状況	62
②仕事内容等の以前との変更の有無	65
(4) 仕事の悩みと転職の希望	67
①転職の希望	67
②希望の職種	69
③転職予定	71
(5) 仕事についていない理由	73
(6) 仕事の経験	75
(7) 今後の就業希望	76
(8) 特技・免許・資格の取得状況及び今後の取得希望	77
5. 家計	78
(1) 年間の世帯の総収入	78
(2) 1か月の収入内訳	80
①種類別収入	80
(3) 現在の家計の状況	83
(4) 養育費についての相談	85
(5) 養育費の取り決め状況	87
(6) 養育費の取り決め方法及び取り決めをしていない理由	88
(7) 養育費の受給状況	90
6. 子どもの教育等について	92
(1) 子どもに対する悩みについて	92
(2) 小学校入学前の子どもの世話	94

(3) 小学生の放課後の過ごし方	95
(4) 中学校卒業前の子どもの進学希望	97
(5) 中学校を卒業後の子どもの進路	98
(6) 学費・教育費の資金源	99
7. 生活等について	101
(1) ワークライフ・バランスについて	101
①一日のうち、家事に要する時間	101
②一日のうち、余暇となる時間	103
③ワークライフ・バランスで悩んでいること	105
(2) 病気などの時の介護	107
(3) 現在の悩み	108
(4) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について	113
(5) 女性が仕事を持つことについて	115
8. 福祉施策の利用・受給状況	117
(1) 福祉施策の利用・受給状況と利用しない理由	117
(2) 母子福祉団体への加入	118
(3) 名古屋市の施策への期待	120
(4) 相談事業の内容について期待すること	124

第2章 父子世帯

1. 父子世帯の状況について	125
(1) 父親の年齢	125
(2) 最終学歴	127
(3) 同居の家族	128
(4) 子どもの人数	130
2. 父子世帯になった当時の状況	133
(1) 父子世帯になった理由	133
(2) 父子世帯になった当時の父親と最年少の子どもの年齢	135
(3) 父子世帯になってからの期間	136
(4) 父子世帯になって困ったこと	138
(5) 援護施策を知った方法	140
3. 住まいについて	141
(1) 住居形態	141
(2) 現在の住まいを選択した理由	147
(3) 現在の住まいの居住期間	149
(4) 転居の希望・住まいの不満	150
(5) 転居する予定	153
(6) 区役所・支所へのおもな移動手段	155
4. 父親の就業状況	156

(1) 現在の就業状況	156
(2) 雇用されている人の雇用形態	159
①雇用の形態	159
②勤務時間	160
③終業時間	161
④職種	163
⑤勤務している期間	164
⑥勤務地	165
⑦通勤時間	167
⑧就職経路	168
(3) 父子世帯になった当時と現在の仕事の状況	170
①父子になった当時の仕事の状況	170
②仕事内容等の以前との変更の有無	171
(4) 仕事の悩みと転職の希望	172
①転職の希望	172
②希望の職種	173
③転職予定	174
(5) 仕事についていない理由	175
(6) 仕事の経験	176
(7) 今後の就業希望	177
(8) 特技・免許・資格の取得状況及び今後の取得希望	178
5. 家計	179
(1) 年間の世帯の総収入	179
(2) 1か月の収入内訳	181
①種類別収入	181
(3) 現在の家計の状況	185
(4) 養育費についての相談	186
(5) 養育費の取り決め状況	187
(6) 養育費の取り決め方法及び取り決めをしていない理由	188
(7) 養育費の受給状況	189
6. 子どもの教育等について	190
(1) 子どもに対する悩みについて	190
(2) 小学校入学前の子どもの世話	192
(3) 小学生の放課後の過ごし方	193
(4) 中学校卒業前の子どもの進学希望	195
(5) 中学校を卒業後の子どもの進路	196
(6) 学費・教育費の資金源	197
7. 生活等について	198
(1) ワークライフ・バランスについて	198

①一日のうち、家事に要する時間	198
②一日のうち、余暇となる時間	199
③ワークライフ・バランスで悩んでいること	200
(2) 病気などの時の介護	201
(3) 現在の悩み	202
(4) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について	205
(5) 女性が仕事を持つことについて	206
8. 福祉施策の利用・受給状況	207
(1) 福祉施策の利用・受給状況と利用しない理由	207
(2) 名古屋市の施策への期待	208
(3) 相談事業の内容について期待すること	210

第3章 両親のない子のいる世帯

1. 両親のない子のいる世帯の状況について	211
(1) 養育者の年齢	211
(2) 最終学歴	212
(3) 同居の家族	213
(4) 子どもの人数	214
2. 両親のない子のいる世帯になった当時の状況	215
(1) 両親のないお子さんとの関係	215
(2) 両親が子どもを養育できない理由	216
(3) 養育を始めた当時の養育者の年齢	217
(4) 養育者になってからの期間	218
(5) 両親のない子のいる世帯になって困ったこと	219
(6) 援護施策を知った方法	220
3. 住まいについて	221
(1) 住居形態	221
(2) 現在の住まいを選択した理由	222
(3) 現在の住まいの居住期間	223
(4) 転居の希望・住まいの不満	224
(5) 転居する予定	225
(6) 区役所・支所へのおもな移動手段	225
4. 養育者の就業状況	226
(1) 現在の就業状況	226
(2) 雇用されている人の雇用形態	227
①雇用の形態	227
②勤務時間	228
③終業時間	229
④職種	229

⑤勤務している期間	230
⑥勤務地	231
⑦通勤時間	232
⑧就職経路	233
(3) 転職について	234
①転職の希望	234
②希望の職種	235
③転職予定	236
(4) 両親のない子のいる世帯になった当時と現在の仕事の状況	237
①養育者になった当時の仕事の状況	237
②仕事内容等の以前との変更の有無	238
③仕事についていない理由	239
④仕事についていない期間	240
(5) 今後の就業希望	240
(6) 仕事の経験	241
5. 家計	242
(1) 年間の世帯の総収入	242
(2) 1か月の収入内訳	243
①種別収入	243
(3) 現在の家計の状況	244
6. 子どもの教育等について	245
(1) 子どもの悩みについて	245
(2) 小学校入学前の子どもの世話	246
(3) 小学生の放課後の過ごし方	247
(4) 中学校卒業前の子どもの進学希望	248
(5) 中学校を卒業後の子どもの進路	249
7. 生活等について	250
(1) ワークライフ・バランスについて	250
①一日のうち、家事に要する時間	250
②一日のうち、余暇となる時間	251
③ワークライフ・バランスで悩んでいること	252
(2) 病気などの時の介護	253
(3) 現在の悩み	254
(4) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について	255
(5) 女性が仕事を持つことについて	256
8. 福祉施策の利用・受給状況	257
(1) 福祉施策の利用・受給状況と利用しない理由	257
(2) 名古屋市の施策への期待	258

第4章 寡婦世帯

1. 寡婦世帯の状況について	259
(1) 寡婦の年齢	259
(2) 最終学歴	260
(3) 同居の家族	261
(4) 子どもの人数	262
2. 配偶者のいない女子になった当時の状況	263
(1) 配偶者のいない女子になった理由	263
(2) 配偶者のいない女子になった当時の母親と最年少の子どもの年齢	264
(3) 配偶者のいない女子になってからの期間	265
(4) 配偶者のいない女子になって困ったこと	266
(5) 援護施策を知った方法	267
3. 住まいについて	268
(1) 住居形態	268
(2) 現在の住まいを選択した理由	269
(3) 現在の住まいの居住期間	270
(4) 転居の希望・住まいの不満	271
(5) 転居する予定	272
(6) 区役所・支所へのおもな移動手段	273
4. 寡婦の就業状況	274
(1) 現在の就業状況	274
(2) 雇用されている人の雇用形態	275
①雇用の形態	275
②勤務時間	276
③終業時間	277
④職種	277
⑤勤務している期間	278
⑥勤務地	279
⑦通勤時間	280
⑧就職経路	281
(3) 寡婦世帯になった当時と現在の仕事の状況	282
①寡婦になった当時の仕事の状況	282
②仕事内容等の以前との変更の有無	283
③仕事についていない理由	284
④仕事についていない期間	285
(4) 仕事の悩みと転職の希望	286
①転職の希望	286
②希望の職種	287
③転職予定	288

(5) 仕事についていない理由	289
(6) 仕事の経験	290
(7) 今後の就業希望	291
(8) 特技・免許・資格の取得状況及び今後の取得希望	292
5. 家計	293
(1) 年間の世帯の総収入	293
(2) 1か月の収入内訳	294
①種類別収入	294
(3) 現在の家計の状況	295
6. 子どもの教育等について	296
(1) 子どもに対する悩みについて	296
(2) 中学校を卒業後の子どもの進路	297
(3) 学費・教育費の資金源	298
7. 生活等について	299
(1) ワークライフ・バランスについて	299
①一日のうち、家事に要する時間	299
②一日のうち、余暇となる時間	300
③ワークライフ・バランスで悩んでいること	301
(2) 病気などの時の介護	302
(3) 現在の悩み	303
(4) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について	304
(5) 女性が仕事を持つことについて	305
8. 福祉施策の利用・受給状況	306
(1) 福祉施策の利用・受給状況と利用しない理由	306
(2) 母子福祉団体への加入	307
(3) 名古屋市の施策への期待	308
(4) 相談事業の内容について期待すること	309

付 調査票

I 調査の概要

II 推計

Ⅲ ひとり親家庭等実態調査結果の推移

IV 調查結果

第1章 母子世帯

第2章 父子世帶

第3章 両親のない子がいる世帯

第4章 寡婦世帶

付 調査票